

低膨張結晶化ガラス粉末 (粉碎品)

●低膨張フィラー ●研磨剤 / 砥粒

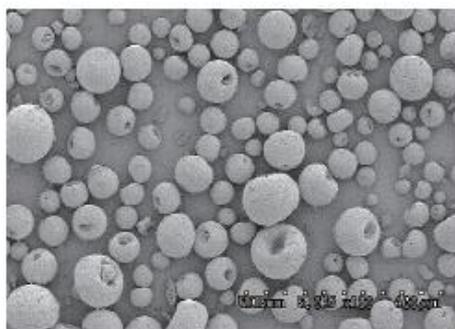
ガラスフラックス添加・樹脂添加

- 特性を利用して各種用途で用いられています。
- 標準品は造粒されています。
- 粒度カスタマイズいたします。

特性

ガラス	N-0	N-11	NS	
熱膨張係数※1	-4	10	40	$\times 10^{-7}/K$
密度	2.5	2.5	2.5	g/cm^3
熱伝導率	1.6	1.6	1.6	W/mk
ビッカース硬度	700	800	—	Hv(0.2)

※1) 25~300℃平均 保証値ではありません



参考品

- 低膨張結晶化ガラス接着用 低膨張結晶化ガラスフラックス
- 焼成により、低膨張基材の接着ができます。※2

特性	LEA	
軟化温度 (DTA)	675	℃
結晶化ピーク温度 (DTA)	715	℃
結晶化後熱膨張係数 ※3	15	$\times 10^{-7}/K$

保証値ではありません

※2参考

サイズφ50×4tのN-11(熱膨張係数 10×10^{-7})2枚をLEAを介して貼り合せ、1000℃にて焼成し貼り合わせる。貼り合せた焼成体を500℃に加熱し、20℃の水中に投げ入れても、2枚のN-11の接着は保たれる。

※3

25~300℃平均 ガラス粉体のプレス品を800℃(10℃/min)15min_keepのスケジュールで焼成し得られた成形体の値(TMA)。結晶化条件により変化します。

NARUMI

鳴海製陶株式会社 産業器材部

〒458-8530 名古屋市緑区鳴海町伝治山3番地 TEL. (052) 896-2250 FAX. (052) 896-2234

ナルミホームページアドレス <http://www.narumi.co.jp>